



2023年、静岡市は下水道事業に着手して100周年を迎えました。

私たちの生活になくてはならない下水道。

まずは、下水道について役割の変化と

水をきれいにする仕組みを学んでみましょう!



下水道の役割

下水道は当初、「汚れた水をきれいにして街を清潔にすること」

「大雨から街を守る」ことを目的に整備されました。

その後、公害が問題となったことから昭和45年に

「川や海の水をきれいに保つ」ことが目的に加えられました。

現在では、下水道から生まれる資源を有効に活用することも求められています。

昭和33年 新下水道法制定

汚れた水をきれいにして街を清潔にする

大雨から街を守る

昭和45年 下水道法改正

川や海の水をきれいに保つ

平成27年 下水道法改正

下水道から生まれる資源を活用する

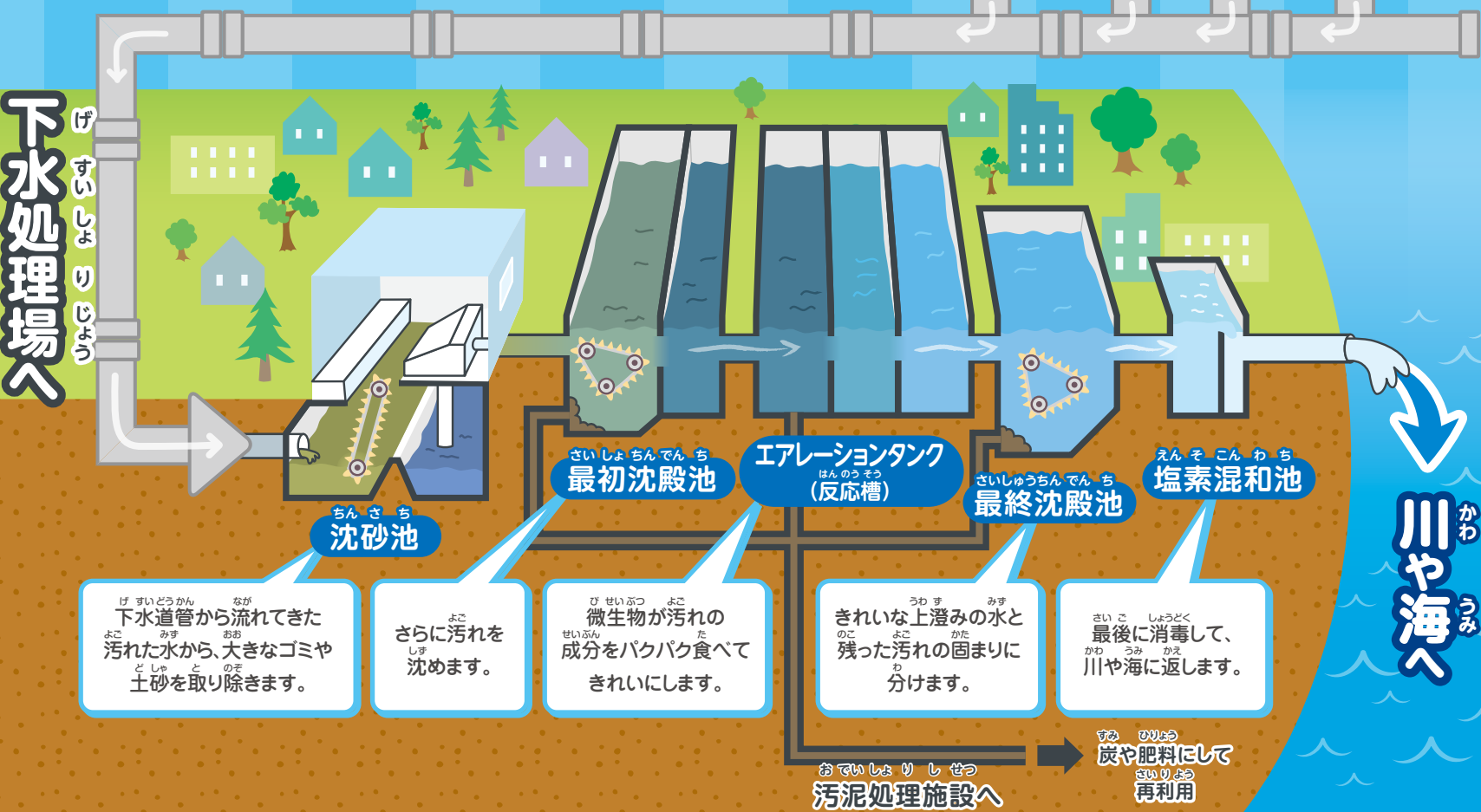
水をきれいにする仕組み

私たちが家や学校で使って汚れた水は、下水道管を

下水処理場に流れていきます。下水処理場では、微生物が

汚れを食べて水をきれいにしてくれます。

そして、きれいになった水は川や海に返されます。



下水道管から流れてきた汚れた水から、大きなゴミや土砂を取り除きます。

さらに汚れを沈めます。

微生物が汚れの成分をパクパク食べてきれいにします。

きれいな上澄みの水と残った汚れの固まりに分けます。

最後に消毒して、川や海に返します。

炭や肥料にして再利用